



▲雇用安定の裏打ちとなる職業訓練

景気回復が停滞している経済環境のなかにあつて、勤労者の生活に活力と安定を生み出すための努力が強く要請されています。

本年度予算におきましては、景気の着実な回復促進と、県民生活の安定を図ることを重点課題として編成しておりますが、企業の成長発展と、勤労者の地位の向上を図るためには、すぐれた人材の育成を初め、明るい楽しい職場環境や生活環境の整備が必要です。

このため県としては、勤労者に対する持家の促進、生活関連融資の充実、人材の能力開発の拡充、身障者の雇用促進等に取り組みしております。

又、企業に対しては、各種の制度融資を積極的に活用して、勤労者福祉施設の整備や、福利厚生制度の拡充を進めるよう指導してまいります。

★中小企業従業員住宅建設……

一億六千六百五十二万円

中小企業に従事する従業員の住宅難を緩和するため、県が中小企業従業員住宅を建設し、これを中小企業主に貸付けることといたします。

★勤労者金融対策……一億八千万円
勤労者の住宅資金や生活資金の融資を円滑にするため、労働金庫に対し、本年度も引き続き貸付けを行なうことといたしました。

☆高等職業訓練課程の設置……

一千六百四十八万円

高校進学率の上昇に対応して、熊本県立熊本専修職業訓練校の電気工学科と、自動車整備科について、従来の専修職業訓練課程を高等職業課程に切替え、高卒者の訓練体制への対応を図り、同校の校名も、熊本県立熊本高等職業訓練校に改めることといたしました。

★事業内職業訓練の拡充……

三千六百二十四万円

経済の安定成長下では、企業が従業員的人材の能力の一層の開発向上を図ることが不可欠ですので、事業内職業訓練に対する助成を強化し、その拡充を図ります。

★身心障害者の雇用促進……

二百八十六万円

身心障害者の一層の雇用促進を図るため、専用のカウンセラーを、熊本・八代の公共職業安定所に配置し、身障者の相談援助を行ないます。

子供たちのふるさとづくり

——天神子供会(高森町)——

春夏休みや日曜日、地域の道路、公民館、阿蘇神社など公共的な場所に、ほうきを手にした子供たちの姿を見ることが増えて十年が経つという。最近では、地域の大人たちもこの活動に理解を示し、親子一体となった清掃活動が展開されている。

もとより、郷土の清掃美化という問題は、ひとえに住民の意識の問題にかかっている。一部の行楽客やドライバーの心ない所業を思うとき、子供たちが活動を通して必ずや体得するであろう地域形成者としての自覚に、大きな期待を寄せざるを得ない。

